

12月のどきどき

76名の真剣勝負

3日、グラウンドゴルフ同好会主催による、第16回教育長杯争奪大会が多目的スポーツセンターで開催され、豊島教育長など76名が参加。

白熱した戦いは、2時間で16ホールをプレー（8ホールを2度）し、優勝の座を競い合いました。大変な盛り上がりを見せたこの大会は、下出文字さん（追分本町）の優勝で幕を閉じました。



命を救う基礎学ぶ

11日、安平町スポーツセンターで赤十字救急法基礎講習会が行われました。

この講習会には、救命行為の基礎を学ぶため6名が参加。自動体外式除細動器の使い方や気管異物除去の方法など、傷病者の発見から救急隊員に引き継ぐまでの手順を学びました。始めは慣れない手つきでしたが、次第にスムーズに処置が行えるようになり、参加された皆さんからは、満足した様子が伺えました。



厚真町とタッグでPR

7日、役場早来庁舎の一室に、安平町と厚真町の町長や職員が集結。2つの町をPRするための動画撮影を行いました。

撮影は、対決・地元愛編というテーマで進められ、町の魅力を互いの町長が主張し合うというものです。

完成した動画は、動画共有サイトYouTube内の安平町アカウントにてご覧いただけます。



W杯初のメダル

スピードスケートW杯第3戦（開催地カザフスタン）1500円でメダルを獲得した中村奨太選手（早来北町）が14日、瀧町長を表彰訪問。

世界で戦うこと5年。個人種目では初のメダルとなった中村選手は、「不調だった中長距離が世界に近づいたことを実感している」と話し、瀧町長も「ケガや体調に注意して、2月の冬季アジア大会と次期冬季五輪で活躍して欲しい」とエールを送りました。



2名の選手が町を応援

北海道日本ハムファイターズが実施している北海道179市町村応援大使に、2017年は安平町が当選し、井口和朋選手と矢野謙次選手が安平町を応援してくれることとなりました。

その報告と記念品の贈呈を兼ね15日、球団職員が来庁。瀧町長に選手パネルとユニフォームが贈られました。記念品は、早来庁舎入り口付近に設置していますのでご覧になってみてください。

